

農に生きる



「みなさんが喜ぶ 笑顔は私の活力」

豊橋市中原町
川合由之（44歳）さん



中原町の川合由之さんの家は元々ミカンを栽培していました。由之さんも大学校を卒業して農業を始めた時はミカンを栽培していましたが、2年ほどしてからバラの栽培を始めました。バラにしたのは由之さんが花が好きだったこと。特にバラの花が好きで誰もが知っている花だからだそう。ミカン畑をバラのハウスに変えて20年以上になります。「ハウスで栽培することによって一年中花が咲くので、毎日朝と夕方採花します。採花した花を選別して出荷日まで冷蔵庫で保管。出荷日の朝、箱に入れて出荷します」出荷時間は5時半からで、その前に箱詰めをするので3時ぐらいには起きなければいけないそうです。「出荷がない日には消毒をしたり余分な芽を取ったりする作業があります。また樹勢がいい木を保つために5年ぐらいで植え替えていきま

す。植え替える時は、みなさんが喜んでくれるような品種を先読みして苗を買ってきます」毎日の作業に植え替えの作業、バラの栽培は大変そうですね。「バラを手にとってくれた人が笑顔になってくれることを考えれば、大変だとは思ったことはないですよ。手間を掛けて育てればバラがそれに応えてくれる。だから頑張ろうって思えます」今後の目標をお聞きすると「品質向上と数量アップが今の目標です」と答えてくれました。

最後にバラを買ってくれた人にアドバイスとメッセージ「こまめに水を替えれば長持ちします。できれば切花用の花持ち剤を入れてください。まわりの人にも花の良さを広めて、多くの人の部屋に飾ってほしいです」笑顔が素敵な由之さん、だから綺麗なバラができるのですね。